

広報

第907号

# いながわ

3月

平成27年



ホンモノの陶芸体験に「ドキドキ♡」県陶芸美術館の出前講座（大島小学校）

特集

平成27年度 町長施政方針

明るい<sup>あした</sup>未来に向けて

教育・子ども施策を充実  
～平成27年度当初予算案～ ○ 4

しまった・こまった・たすかった！  
特殊詐欺にご注意を！ ○ 19

いなが♡輪 清水 清寿会  
猪名川木喰会 ○ 24

瞬(ときめき) 秋山 賢太さん ○ 26

私のオススメ☆ 桜 さくら サクラ ○ 27

特派員報告 こんにちは！  
ぼく、いなぼうだよ！ ○ 28



顔を出したフキノトウ♪春はもう、すぐそこに…(柏原)



## 平成 27 年度重点項目

### 安全・安心

防災資機材の備蓄および災害発生時における避難所機能を有する町北部の防災拠点施設として、現在の六瀬コミュニティセンターを「(仮称)六瀬総合センター」として建替えます。

この施設は、六瀬コミュニティセンターと木津総合会館を統合した人権啓発拠点施設、地域コミュニティ施設、行政施設などに加え、防災拠点施設の機能を有する複合施設として平成 28 年 4 月の供用開始に向け整備してまいります。

### 子ども・子育て

新たに「こども課」を新設し、子ども・子育てサービスの充実を目指すなど各種事業を実施してまいります。

また、妊婦に係る経済的負担を軽減するための妊婦健康診査費助成について、助成額をこれまでの最大 7 万円から県下トップとなる 11 万 2 千円に引き上げ、安心して子どもを産み育てられる環境づくりに努めてまいります。

さらに、子育て相談の拠点となる子育て支援センターについては、子育てについて総合的に相談に応じる職員を新たに配置するとともに、子育て広場の開催日数についても拡充し、より相談体制の機能充実を図ってまいります。また、所在地を分かり易くするため、施設名称看板などを設置し、より多くの人に利用していただけるように努めてまいります。

### 学校教育

電子黒板機能が付いた大型ディスプレイなどの ICT 機器を学校へ配備し、児童生徒の学習意欲を高めるとともに教員の授業力の向上を図り、分かりやすい授業づくりに取り組みます。

また、地方教育行政の組織および運営に関する法律の改正に伴い、教育行政における責任体制の明確化や迅速な危機管理体制の構築、そして教育行政の推進について、町長である私と教育委員会とが教育政策について議論する「総合教育会議」を設置する中で、政策の方向性を共有し執行してまいります。

### 新名神高速道路

新名神高速道路を活かしたまちづくりについては、町全体の土地利用方針を明確にするため、町土地利用計画の策定に着手するとともに、都市計画マスタープランについても、市街化調整区域の土地利用のあり方などを示すため、一部見直しを行ってまいります。

また、町南部の大規模町有地の活用については、本町の発展のため、産業振興と雇用機会の拡大、持続可能なまちづくりに向けて、その実現に求められる有効な支援策などを検討しながら取り組んでまいります。特に産業拠点地区については、新名神高速道路の供用開始により広域的な交通アクセスが格段に向上することから企業誘致を目指すこととし、活用事業者の公募を行ってまいります。

# 平成 27 年度町長施政方針

# 明るい未来に向けて



猪名川町長  
福田 長治

### まちの活性化を目指して

本年は、1 月に阪神淡路大震災から 20 周年を迎えました。4 月には町制が施行して 60 周年、8 月には戦争が終結して 70 周年と、幾重にも意義深い節目の年を迎えております。新年度からは、持続的な定住促進を図るため、分野横断的にかつ重点的・戦略的に取り組むべき 5 つの重点テーマを設定した第五次総合計画後期基本計画がスタートいたします。

また、これまで取り組んできた新名神高速道路の開通を見据えた産業拠点地区のまちづくりなどは、本町の特性を活かした地方創生の取り組みであり、今後の町政を左右する大きなプロジェクトとなります。このプロジェクトを成功に導くことで、町が目指す地方創生の実現が図られ、町の活性化が進むと信じております。

新年度の予算編成にあたっては、安全・安心、子ども・子育て、教育、そして新名神高速道路を活かしたまちづくりの 4 項目に重点を置きました。

本年 4 月 10 日には、町制施行 60 周年の日を迎えます。これまでの歩みを振り返りながら先人の築いてこられた功績に感謝し、未来に向けた橋渡しを行っていき、そのような思いを込め、本町の自然を満喫できるイベントなどの記念事業を実施してまいります。

2 月 24 日の第 375 回町議会定例会で、福田町長が平成 27 年度の町政運営と重要施策について説明しました(要旨抜粋・全文は企画財政課窓口、町ホームページ)。



# 教育・子ども施策を充実

平成27年度当初予算案

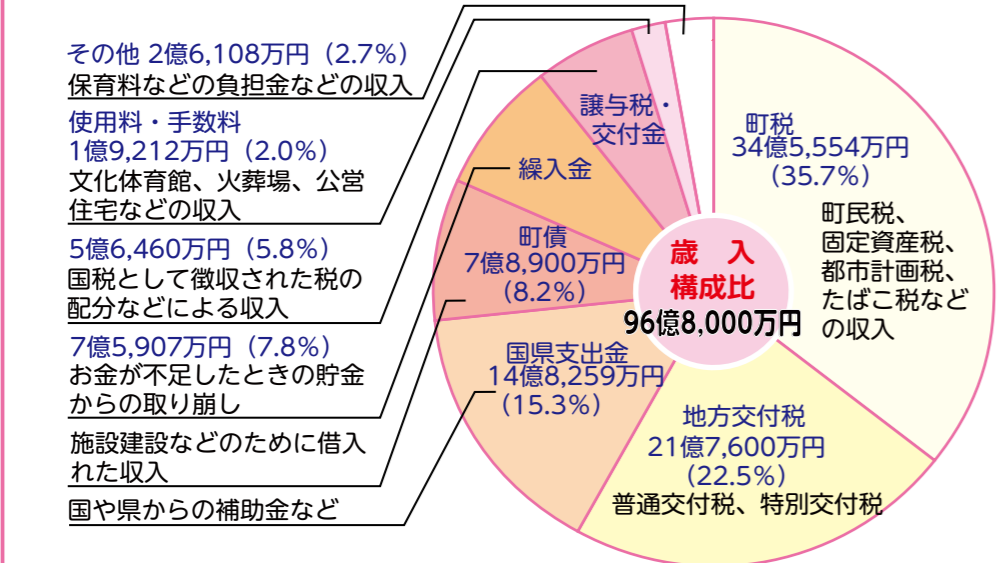
一般会計を中心にその概要をお知らせします。  
この予算案は、3月25日まで開催される第375回町議会定例会で審議されています。  
また、予算案の内容をまとめた「平成27年度予算の概要」は、町ホームページでもご覧いただくことができます。  
▼予算に関する問合せ 企画財政課 (☎766・8711)

◎総額は193億3537万円

一般会計・特別会計・企業会計の総額は193億3537万円です。前年度より8億3323万円(4.5%)増加しています(表1)。  
一般会計の予算総額は96億8000万円です。(仮称)六瀬総合センター整備事業をはじめ、道路の新設・拡幅工事、橋りょうの維持補修工事などを行うため、前年度より6300万円(0.7%)増加しています。

## 《歳入》

歳入では、町税が34億5,554万円で、生産年齢人口の減少や評価替えなどの影響により、前年度から9,816万円(△2.8%)減少しています。それぞれの事業を進めるために、地方交付税や国、県からの補助金などを活用していますが、それでも15億4,807万円の不足が生じています。  
そのため、基金から7億5,907万円を取り崩し、町債として7億8,900万円を借り入れることで、歳入の不足額を補っています。



## 《歳出》

＜主な目的別歳出＞  
**民生費** = 子ども・子育て支援新制度による施設型給付等事業(2億7,181万9千円)、心身障害者の施設入所などにかかる介護給付(1億4,130万円)、第3子以降の出生に対し祝い金5万円と2万円相当の農産物と交換できる商品券を贈呈(280万円)  
**教育費** = 学校ICT環境整備事業(3,144万6千円)、小学校の体育館などの非構造部材耐震化事業(6,756万円)、学校図書館司書・支援員の配置(1,121万8千円)  
**総務費** = (仮称)六瀬総合センターの整備(2億2,981万4千円)、町制施行60周年記念事業(825万8千円)、防犯灯のLED化推進や防犯カメラの設置補助など(3,215万4千円)  
**衛生費** = 感染症対策事業(6,828万9千円)、ごみ収集車の買い替え(1,068万6千円)

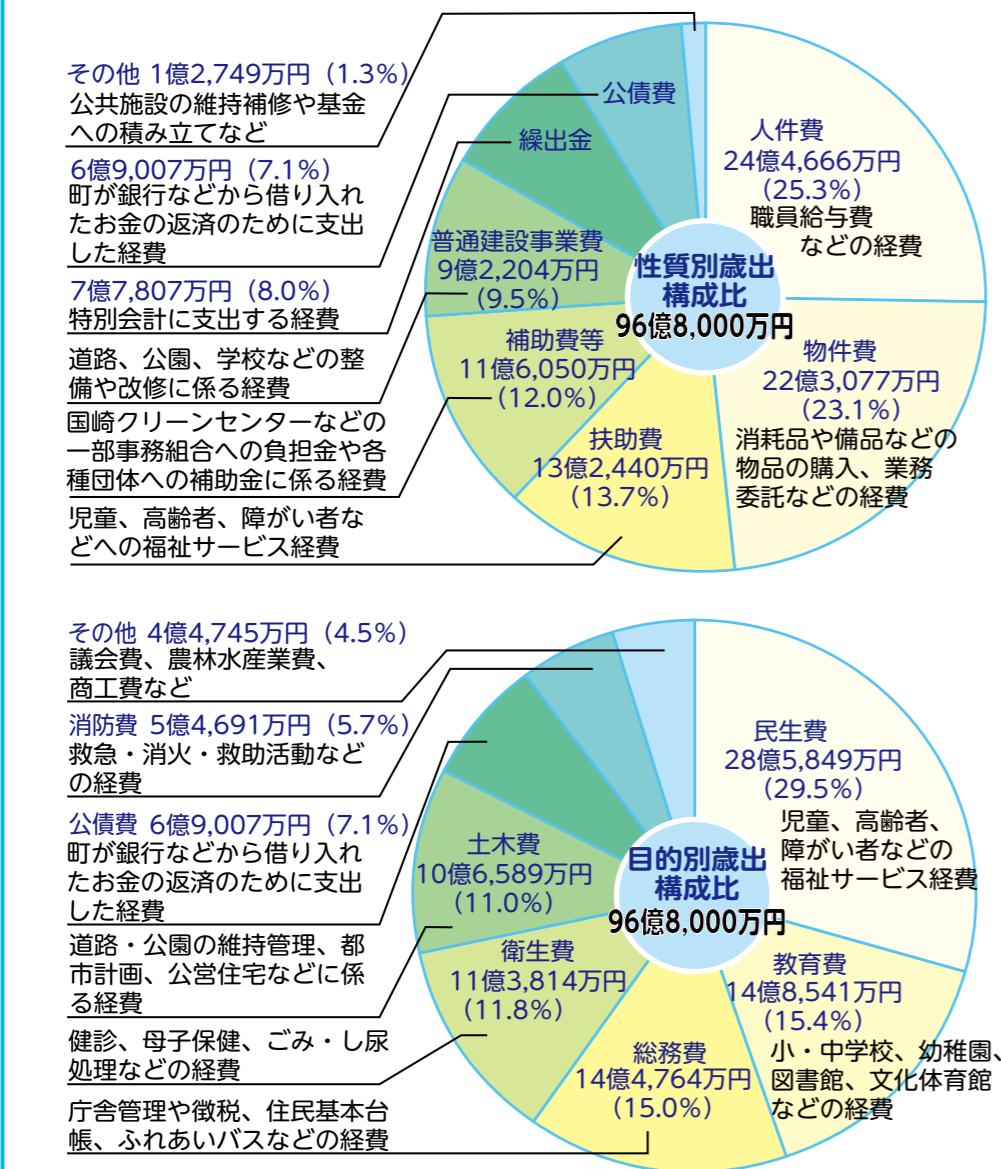
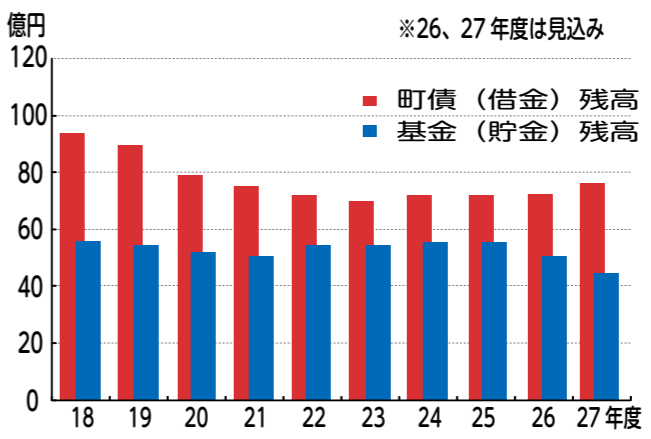


表1 平成27年度当初予算の内訳 (単位: 万円)

会計名	平成27年度当初	平成26年度当初	比較	増減(%)
一般会計	96億8,000	96億1,700	6,300	0.7
特別会計				
国民健康保険	37億112	31億6,742	5億3,370	16.8
介護保険	21億703	20億1,447	9,256	4.6
後期高齢者医療保険	5億9,592	5億8,372	1,220	2.1
農業共済	3,875	3,729	146	3.9
奨学金	966	966	0	0.0
小計	64億5,248	58億1,256	6億3,992	11.0
企業会計				
水道事業会計	14億4,106	12億7,327	1億6,779	13.2
下水道事業会計	17億6,183	17億9,931	△3,748	△2.1
小計	32億289	30億7,258	1億3,031	4.2
合計	193億3,537	185億214	8億3,323	4.5

### 町債(借金)・基金(貯金)残高の推移

◎町の借金である町債の残高は、町債の新規借入れ額が返済額を上回り、前年度から1億8,983万円増加し76億4,668万円となる見込みです。  
◎町の貯金である基金の残高は、横ばい傾向が続いていましたが、(仮称)六瀬総合センターの整備などの財源として、基金の取り崩しを行うため、前年度から7億2,507万円の減少となり、45億8,596万円となる見込みです。



△60周年ロゴマークとキャッチフレーズ  
**衛生費** = 感染症対策事業(6,828万9千円)、ごみ収集車の買い替え(1,068万6千円)

# 当初予算（一般会計） における主要事業概要

第五次総合計画の基本構想・後期基本計画に基づいて実施する施策および事業のうち、平成27年度の主な事業概要は、次のとおりです。

## 笑顔あふれるふれあいのまち 猪名川 ～ 地域・生活 ～

### ◆（仮称）六瀬総合センター整備事業 2億2,981万4千円

六瀬コミュニティセンターを解体撤去した後に、新たな施設として「（仮称）六瀬総合センター」を建設します。この施設は、防災拠点施設として防災資機材の備蓄および災害発生時における避難所機能を有するとともに、人権啓発拠点施設、地域コミュニティ施設、行政施設（役場出張所）などの機能を有する複合施設として整備を行います。



完成予想図

### ◆コミュニティ推進事業 2,348万2千円

地域コミュニティの推進を図り、地域の特性を活かした住民主体のまちづくりを推進す

るため、「まちづくり協議会」が実施する補助対象事業の拡大を行い、活動を支援します。

また、地域課題の解決に向け、引き続き住民を対象とした研修を実施することにより、地域リーダーの養成に努めます。

### ◆消防施設整備事業 6,405万4千円

複雑多様化する災害事象などに対応するため、消防ポンプ自動車を更新するとともに、資材などを運ぶ搬送車を購入し機動力の強化を図ります。また、老朽化した消防団の小型動力ポンプ付積載車を更新し、出動に備え万全を期します。



消防ポンプ自動車

### ◆防犯対策事業 3,215万4千円

## こころ安らぐ自然に育まれたまち 猪名川 ～ 環境・景観 ～

### ◆希少水生生物等保全事業 198万8千円

環境交流館を利活用し、町内に生息する希少水生生物を中心とした環境情報を発信するとともに、環境学習の場の提供を行います。

また、新年度より指定管理者制度を導入し、施設運営面でのサービス向上、利用者の利便性の向上を目指します。



環境交流館（世尾）

### ◆塵芥処理事業 1億1,310万8千円

ごみ収集業務について、大型ごみの有料収集など引き続き適正なごみ処理に向けた分別収集を行うとともに、老朽化した塵芥収集車を更新し、ごみ収集業務の効率化を図ります。

### ◆火葬場運営・施設整備事業 5,424万6千円

火葬場については、引き続き指定管理者による管理運営を行い、更なるサービス向上に努めます。また、施設の計画営繕のほか、周辺環境の整備とともに老朽化している霊柩車を更新し、利用環境の向上に努めます。

### ◆公園緑地の維持管理 1億727万8千円



交流館内部



## いきいきと暮らせる健康長寿のまち 猪名川 ～ 健康・福祉 ～

### ◆子ども・子育て支援新制度による施設型給付等事業 2億7,181万9千円

平成27年4月から「子ども・子育て支援新制度」がスタートすることにより、乳幼児期の教育・保育の総合的な提供や、待機児童対策の推進、地域での子育て支援の充実を図ります。新制度による私立の認可保育所、認定こども園（幼稚園部門も含む）へ共通の給付（施設型給付）を行います。

### ◆放課後児童対策事業 7,944万2千円

原則、対象児童を従来の1～3年生までを4年生までに拡充し、保護者の就労などにより昼間家庭で保育を受けられない児童に対して、小学校などで留守家庭児童育成室を開設し、児童の健全育成を図ります。

### ◆養育医療給付事業 100万3千円

未熟児は疾病にかかりやすく、経済的・精神的・肉体的な負担が大きいことから、入院中の医療費を助成します。

### ◆妊婦健康診査費助成事業 1,646万4千円

妊婦の経済的負担の軽減を図るため、妊婦健診費用の助成金額を現行の7万円から11

万2千円へと拡充し、子どもを産み育てやすい環境づくりに努めます。

### ◆子育て支援対策事業 1,252万8千円

### ◆多子誕生祝金事業 280万円

### ◆移動式赤ちゃんの駅・キッズコーナー設置事業 91万8千円



キッズコーナー

### ◆緊急通報システム運営事業 195万8千円

### ◆人生80年いきいき住宅助成事業 746万円

### ◆心身障害者（児）支援事業 2億5,850万7千円

### ◆感染症対策事業 6,828万9千円

## こころ豊かな教育・文化のまち 猪名川 ～ 教育・文化 ～

### ◆学校図書館司書・支援員配置事業 1,121万8千円

小・中学校で図書館教育の専門的な取り組みを推進するため、引き続き図書館司書を配置します。また、専任の学校図書館司書が配置されていない中学校へは新たに学校図書館支援員を派遣します。

### ◆学校ICT環境整備事業 3,144万6千円

小・中学校の普通教室に電子黒板機能付き大型ディスプレイ、実物投影機、指導用パソコンを整備します。各教科などの指導に日常的にICTを活用し、児童生徒にとってわかりやすく学習意欲の高まる授業を実施します。

また、特別支援学級へは、タブレット端末を導入し、視覚的支援やコミュニケーション支援の充実を図ります。

### ◆小学校屋内運動場非構造部材耐震化事業 6,756万円

東日本大震災の教訓に基づき、国の指針により学校体育館と柔剣道場の吊り天井や照明

器具などの非構造部材耐震化事業を行います。新年度は白金小学校とつつじが丘小学校の体育館改修工事を行います。

### ◆いじめ対策事業 434万2千円

### ◆スポーツセンター整備事業 944万円

### ◆多田銀銅山文化財保存活用事業 479万円



電子黒板を使用した授業の様子

## 活力とにぎわいのあるまち 猪名川 ～都市・産業・観光～

### ◆都市計画道路原広根線新設改良事業

1億1,070万3千円

新名神高速道路の供用開始が平成28年度末に予定されていることから、町内交通体系を見直すとともに、都市計画決定済の原広根線について、パークタウン交差点までの延長約280mの整備を進めます。

### ◆市街化調整区域の活性化方策検討

704万3千円

主要幹線道路沿道の特性や周辺環境と調和した土地利用の誘導を図ることとし、町土地利用計画の策定および都市計画マスタープランの一部見直しを行います。

### ◆産地形成振興対策事業

770万5千円

地場産農産物の安定供給に必要な農家への営農・技術指導について、各種団体との連携を図り、安全・安心な町内産の農産物の供給を図るとともに、農産物の周年出荷を推進するため、パイプハウスの設置に対する支援を引き続き行います。

また、米の生産調整、遊休農地防止対策として、本町が推進する地域振興作物である「そば」の栽培に対し支援を行います。

### ◆有害鳥獣対策推進事業

376万7千円



県猟友会猪名川支部

これまで県猟友会猪名川支部に委託していた駆除業務について、鳥獣被害防止特措法の趣旨に基づき、町において鳥獣被害対策実施

隊を創設し、任命した隊員が駆除活動を行うとともに、駆除後の死骸の処理についても町が行うことにより、より効果的な有害鳥獣の駆除を進めます。

### ◆いながわ桜まつり支援事業

340万円

「2015 いながわ桜まつり」を支援し、町の活性化や観光PRを行います。町道原広根線（原交差点～上田尻橋）1.2kmを歩行者専用道路とし、より安全で快適なイベントを目指します。また、町制施行60周年記念事業の一環として来場者による仮装イベントを行い、まつりのにぎわいを創出します。



いながわ桜まつり



桜まつりのストリートパフォーマンス

## 人びとと行政がともに歩むまち 猪名川 ～行政運営～



60周年カウントダウンパネル

### ◆公共施設等総合管理計画策定

500万円

全ての公共施設などを対象に、施設の利用状況や人口の推移、あるいは財政状況を考慮しながら、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に推進するための総合管理計画を策定します。

### ◆町制施行60周年記念事業

825万8千円

町制施行60周年を迎えるにあたり、「再発見」をテーマに記念式典および記念事業を実施します。本町の魅力を町内外に発信することで、町のイメージアップや知名度向上を図り、効果的かつ戦略的なシティプロモート活動を行います。